



学 校 だ よ り

1 2 月 号

都 筑

令和3年11月30日
横浜市立都筑小学校
校長 井上 由美子

学校HP <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tsuzuki/>

「学ぼう つながろう やりとげる 都筑の子」

人と人をつなぐ大切なもの、『ことば』

校長 井上 由美子

桜の木に残っている葉がまばらになり、冬が近いことを感じる季節になりました。登校してくる子どもたちの手には、手袋も見え始めました。朝、昇降口前で「息が白くなったよ。」と教えてくれた子どもの気づきは、『冬の発見1号』でうれしかったです。

11月20日は、1年ぶりに「都筑英語村」が開催できました。今年度は、交流するクラスや人数の制限はありましたが、久しぶりに友だちと一緒にちょっと自由に校舎の中を動く活動は、とても楽しかったようです。各クラスでは、学年ごとテーマを決めてブースをつくり、店屋さんとお客さんの関係の会話をしていました。6年生のブースでは、自分たちでタブレットに取り込んだ世界の情報を上手に操作して、旅行会社のように説明をしていました。2年生のブースでは、目や鼻や口をもらって、モンスターをつくっていました。言葉がなかなか出なくて困る場面もありましたが、周りの優しさに励まされ、会話をつなげることができていました。体育館・ホール・廊下では、AET、つづきMYプラザのネイティブスピーカーや保護者ボランティアの方々にスタンプマンとして活躍していただきました。訪ねてきた子どもたちは、言葉を探しながら一生懸命に会話をしていました。校舎のどこに行っても活気があふれていました。ボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。英語という『ことば』を通して、いろいろな人とつながりが広げられる、よい体験ができた一日でした。

さて、12月1日から10日は人権週間です。「人権」は、だれもが、安心して、豊かに、自分が自分として生き生きと生活する上で不可欠なものです。「人権」がすべての人に保障されるためには、一人ひとりが自分をかけがえのない存在として思えるようになること、さらには他の人も同様にかげがえのない存在として尊重したいと実感できるようになることが必要です。

都筑小のすべての子どもたちが「行きたい学校」「安心できる学校」であるために、人と人をつなぐ『ことば』について振り返ってみることを提案します。『ことば』は、自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを理解したりするために大切なものであるのに、『ちくちくことば』や『きたないことば』を耳にすることがありました。『ふわふわことば』をかけられると、ほっとした気持ちになります。お互いが大切な存在だと思えると『優しいことばかけ』ができると思います。人権週間をきっかけに、『ことば』について振り返り、気づき、変わっていけるとよいと思います。

『一人ひとりみんな大切な存在である』というメッセージが伝わるよう、日々の学校生活の中でがんばったことを認めたりほめたりして自己肯定感や自尊感情を高め、他の人と関わりながら人権意識も向上させていけるよう全教職員で取り組んでまいります。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。